



# 日野川でサケの稚魚体験放流が行われました

日野川河川事務所  
平成30年3月8日(木)

平成30年3月6日(火)日野川の八幡橋上流左岸側で、米子市立春日保育園と西保育園の園児合わせて44名が参加し、サケの稚魚体験放流が行われ、1万5千匹余りを放流しました。

この体験放流は、日野川水系漁業協同組合が主催し、10年前から毎年行われております。

園児たちは「帰ってきてね〜!」と元気に声をかけながら、サケの稚魚を日野川に放流しました。

漁業協同組合の佐藤組合長さんから、「4年後、日野川に帰って来られるサケは100匹に1匹程度しかない」と説明があり、子供たちも自然の厳しさを感じたようでした。

人工授精した卵は水温10度に保たれた水槽で相次いでふ化し、越年した稚魚(体長5cm程度)を放流しました。

この後、稚魚は日本海へ降下し、4年後には体長70cm級の親ザケとなって日野川に回帰します。



70cm級の親ザケ



「帰ってきてね〜!」



中海テレビの取材もありました



組合長さんの説明  
「100匹に1匹しか日野川に  
帰って来れない」

